

分担研究名 地域医療に従事する女性医師の確保をめぐる諸課題についての検討

研究分担者 片岡 仁美

（岡山大学病院ダイバーシティ推進センター 教授）

### 研究要旨

医療機関に従事する医師のうち女性の割合は2020年で全年齢では22.8%であるが、29歳以下では36.3%を占め、地域医療に従事する女性医師が今後さらに増加することが見込まれる中、女性医師に固有の課題について分野横断的に検討を行い、地域医療に関心や志のある医師が活躍できるようにするための課題の検討を行う。

全国の地域枠医学生および卒業医師（自治医科大学を含む）を対象に2021年度に実施したアンケート調査のデータを用い、地域医療勤務の義務履行に影響するライフイベントおよびキャリアプランを探る。性差についても検討し、女性医師がライフイベントおよびキャリア形成と地域医療勤務を両立するための課題について検討を行う。また、各都道府県担当部署にもアンケート調査を行い、現状分析および好事例の事例収集を行う。

### A. 研究目的

医療機関に従事する医師のうち女性の割合は2020年で全年齢では22.8%であるが、29歳以下では36.3%を占め、地域医療に従事する女性医師が今後さらに増加することが見込まれる。

一方で医師会、各学会等の調査では女性医師の約4割が離職を経験することを報告している。また、岡山大学における先行研究では、離職を経験する時期は卒後10年以内が90%以上であることを報告している。

地域枠卒業生は卒業後に地域医療従事の義務を有することが殆どであり、義務の履行とライフイベントおよびキャリア形成との両立は若手医師にとって非常に重要な課題である。そこで、本研究では地域枠学生と地域枠卒業生においてライフイベントおよびキャリア形成と地域医療勤務の両立に関してどのような課題があるかを調査するとともに、両立のための具体的な支援策についても検討し、政策提言することを目的とする。

### B. 研究方法

#### （1）地域枠学生・卒業生アンケート調査

2022年2月から3月にかけて研究班で実施したオンライン質問紙調査「医学生／医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート」の回答データを用い、義務年限中の地域医療勤務の義務履行に影響するライフイベントおよびキャリアプランを探った。また、性差についても検討し、女性医師がライフイベントおよびキャリア形成と地域医療勤務を両立するための課題について検討を行った。本アンケートは、全国47都道府県中、研究参加の同意が得られた29都道府県の地域枠医学生・卒業医師（自治医科大学を含む）および全国9大学医学部一般枠学生を対象として実施したが、本研究では地域枠医学生と卒業医師（自治医科大学を含む）を解析対象とした。

アンケートの質問項目のうち、医師のライフイベントおよびキャリアプランに関する項目として、以下の8項目を抽出した。

1. 結婚や、結婚のタイミングについて悩んでいる
2. 自分やパートナー（配偶者等）の出産について悩んでいる
3. 大学医局に入局している/入局するつもりで

ある

4. いずれ専門医を取得しようと思っている
5. いずれ博士号（学位）を取得しようと思っている
6. いずれ国内留学をしようと思っている
7. いずれ海外留学をしようと思っている
8. いずれ開業しようと思っている

これらの質問項目は、「5：全くそのとおり」～「1：全くそうではない」および「わからない」の6つの選択肢で構成されている。これらの選択肢を以下のように3カテゴリー化した。

- ・ 選択肢「1/2/3」→ “いいえ”
- ・ 選択肢「4/5」→ “はい”
- ・ 選択肢「わからない」→ “わからない”

地域医療勤務の義務履行の不確実性については、質問項目「義務年限を最後まで終了するつもりである」と「将来的に義務を離脱する可能性がある」を用いた。これらの質問項目も上記同様、「5：全くそのとおり」～「1：全くそうではない」および「わからない」の6つの選択肢で構成されている。これらの回答を解析に使用するため、以下の通り二値化した。

質問項目「義務年限を最後まで終了するつもりである」に対する回答では、

- ・ 選択肢「1/2/3/わからない」→ “義務履行不確実”

- ・ 選択肢「選択肢4/5」→ “義務履行意志あり”とした。

質問項目「将来的に義務を離脱する可能性がある」に対する回答では、

- ・ 選択肢「3/4/5/わからない」→ “義務履行不確実”

- ・ 選択肢「1/2」→ “義務履行意志あり”とした。

この2項目のうち、いずれかで“義務履行不確実”となった場合に、「地域医療勤務の義務履行が不確かである」と定義した。

ライフイベントおよびキャリアプランに関する意識と地域医療勤務義務履行の不確かさとの関連を調べるために、ライフイベントおよびキャリアプランに関する意識を説明変数、義務履行の不確かさの有無をアウトカム変数とし、ロ

ジスティック回帰分析を行った。その際、各ライフイベントおよびキャリアプランに関する意識に対する回答のうち“いいえ”を基準とし、“はい”および“わからない”における粗オッズ比と95%信頼区間（95% CI）を推定した。女性医学生と女性医師に固有の課題を検討するために、性別による層別解析を行い、男女の比較を行った。有意水準は0.05に設定した。

（倫理面への配慮）

アンケート調査の実施に当たっては、名古屋大学生命倫理審査委員会の審査・承認を経て実施した（承認番号：2021-0491）。岡山大学でのデータ解析に当たっては、岡山大学倫理審査委員会の審査・承認を経て実施した（承認番号：研2301-020）。

## （2）自治体アンケート調査

医師確保策の実態を明らかにするためのアンケート調査を2021年度に実施した。47都道府県の医師確保計画担当部署に質問紙を送付し、医師確保策の実際、キャリア形成プログラムの運用状況、ライフイベントとキャリアの両立に向けた課題等について質問を行った。得られた回答の中から女性医師支援に関する取り組みについて、現状分析および好事例の事例収集を行った。

## C. 研究結果

### （1）地域卒学生・卒業生アンケート調査

#### i) 解析対象者

オンラインアンケートで得られた回答のうち、重複回答および性別またはアウトカム変数に欠損値がある回答を除外した後、学生745人（地域卒医学生617人、自治医科大学学生122人、不明6人）、医師375人（地域卒卒業医師266人、自治医科大学卒業医師108人、不明1人）を解析対象に含めた。

#### ii) 学生について

解析対象者は男性が365人、女性が380人であった。解析に含めた学生の属性を表1に示す。属性に関して男女の違いはみられなかった。

ライフイベントおよびキャリアプランに関する意識の男女比較を表2に示す。“わからない”と答えた割合は、結婚に関する悩み、出産に関する悩み、専門医取得の意向以外では、男性より女性の方が多かった。結婚と出産に関する悩みについては、女性の方が悩んでいるに“はい”と答えた割合が高く、一方男性は“わからない”と答えた割合が女性より高かった。

各ライフイベントおよびキャリアプランに関する意識と義務履行の不確かさの関連を表3に示す。結婚に関する悩みと出産に関する悩みにおいては、女性では、“いいえ”と答えた学生に比べて、“はい”および“わからない”と答えた学生で有意に義務履行の不確かさの高まりと関連していた。その関連は“わからない”と答えた学生でより顕著であった。結婚に関する悩みでは、“はい”および“わからない”と答えた学生の粗オッズ比(95% CI)はそれぞれ、1.90(1.05-3.44)と3.24(1.30-8.05)であった。出産に関する悩みでは、“はい”および“わからない”と答えた学生のオッズ比(95% CI)はそれぞれ、1.82(1.00-3.29)と2.84(1.37-5.91)であった。男性でも同様の傾向が見られたが、関連は有意ではなく、いずれの点推定値も女性より低かった。

キャリアプランに関しては、国内留学や海外留学の意志がある学生は、ない学生と比較して、いずれも義務履行の不確かさの高まりとの関連のオッズ比点推定値が上昇していたが、男性の海外留学以外は有意でなかった。

### iii) 医師について

解析対象者は男性が238人、女性が137人であった。解析に含めた医師の属性を表4に示す。属性に関して、勤務先、勤務先の場所、婚姻状況において男女の違いがみられた。

ライフイベントおよびキャリアプランに関する意識の男女比較を表5に示す。博士号取得、国内留学、海外留学の意向がある医師の割合は男性が女性より多かった。結婚と出産に関する悩みについては、女性の方が悩んでいると答えた割合が高かった。

各ライフイベントおよびキャリアプランに関する意識と義務履行の不確かさの関連を表6に示す。結婚に関する悩みと出産に関する悩みにおいては、女性では、“いいえ”と答えた医師に比

べて、“はい”および“わからない”と答えた医師で有意に義務履行の不確かさの高まりと関連していた。その関連は“わからない”と答えた医師でより顕著であった。結婚に関する悩みでは、“はい”および“わからない”と答えた医師の粗オッズ比(95% CI)はそれぞれ、6.42(2.03-20.31)と26.00(2.48-272.82)であった。出産に関する悩みでは、“はい”および“わからない”と答えた医師の粗オッズ比(95% CI)はそれぞれ、3.15(1.45-7.58)と6.15(1.45-26.00)であった。結婚に関しては男性でも同様の傾向が見られたが関連は有意ではなく、いずれの点推定値も女性より低かった。パートナーの出産に関しては、“わからない”と答えた男性医師で有意に義務履行の不確かさの高まりと関連し、粗オッズ比(95% CI)は6.15(2.73-13.86)であった。

キャリアプランに関しては男女とも、専門医取得、国内留学、海外留学の意向がある医師は、意向がない医師と比較して、いずれも義務履行の不確かさの高まりとの関連のオッズ比点推定値が上昇していたが有意でなかった。

### (2) 自治体アンケート調査

アンケート調査を依頼した47都道府県のうち、36都府県から回答が得られた。そのうち、女性医師支援に関する取組みについて記載があったのは、16府県であった。紹介されていたおもな取組みを以下にまとめる。

復職支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の設置</li> <li>・短時間勤務制度促進 (宿日直・オンコール免除を含む)</li> <li>・代替職員の派遣</li> <li>・研修制度</li> <li>・キャリア形成支援</li> <li>・学会等の旅費支援</li> <li>・ドクターバンクによる職業紹介</li> <li>・求人情報・求職者情報の提供</li> <li>・啓発セミナーの実施</li> <li>・ネットワーク構築(交流会実施等)</li> <li>・就職後の定期的フォローアップ</li> </ul>
など

保育支援	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の設置</li> <li>・保育や保育施設に関する情報提供</li> <li>・一時保育</li> <li>・病児保育・病後児保育</li> <li>・学童保育</li> <li>・子どもの送迎</li> </ul>	など

相談窓口は、復職や保育のみならず介護や住宅のこと等、仕事と家庭の両立に関する内容全般を対象にしている記載もあった。

特徴的な取り組みとして、県立病院における育児短時間勤務女性医師（ママドクター）の公募（岩手県）、病院見学の企画実施（長野県）、病院訪問による離職医師の情報収集（静岡県）、県内4医学部の学生に女性医師の置かれている状況やキャリア形成の必要性等についての早期教育を実施（愛知県）、お留守番医師制度（復職を希望する医師に、かかりつけ医が訪問診療に行く間の外来業務を担ってもらう制度）（熊本県）、短時間正規雇用支援事業（大分県）、等が挙げられる。

なお、今回アンケートに記載がなかった場合でも、各都道府県のホームページでは様々な女性医師支援事業が紹介されていることを確認した。

#### D. 考察

女性医師の就労状況についてはこれまでも報告がなされているが、一般人口と同様に出産・育児を行う年代で就労率が低下するM字カーブが存在していることが知られている。我々の先行研究では、女性医師で離職を経験した割合は4割に上り、その時期は90%以上が卒後10年以内であった。地域卒卒業生では、卒後9年間などの従事要件が課されている場合が多く、女性医師の場合とくにライフイベントと従事要件の両立が課題となることが示唆される。

今回、地域医療勤務義務履行に影響するライフイベントとキャリアプランを検討したアンケート調査の解析では、学生、医師ともに、女性の

結婚と出産に関する悩みがあることおよび見通しが立たないことが、地域医療勤務義務履行の不確かさの高まりと関連していることが示唆された。また、それらに関する悩みがあることよりも見通しが立っていないことの方が義務履行の不確かさの高まりとより関連していることは着目すべき点である。結婚と出産の課題に関して、医師と学生との比較では、医師の方でより問題となっていることが示された。本アンケート調査の対象となった医師は20代半ば～30代半ばがほとんどであり、医師としてのキャリア形成の重要な時期であると同時に、結婚、出産というライフイベントを経験しやすい時期でもある。義務履行の不確かさは、ライフイベントをまだ経験しない学生と比べて、ライフイベントを経験しやすい時期にある医師でより顕著な性差がみられたことから、女性医師にとって結婚や出産というライフイベントが地域医療勤務の義務履行に影響する切実な近い将来の課題であることが示唆された。本解析結果は、2020年度・2021年度分担研究報告書の「専門医の研修状況とライフイベントに関する調査」で報告したように、ライフイベントの影響を強く受けるのは女性であることが示唆されたという結果を支持するものであった。なお、今回の解析は単変量解析であったため、今後さらなる精査が必要である。

女子学生の地域医療従事に対するモチベーションは高く、その点に性差はないという結果も本調査で認められた。しかし、女子学生はライフイベントに関する悩みを男子学生より抱えやすく、さらに現在具体的な悩みを持っていない場合も「いつ結婚、出産を経験するのか、配偶者は同じ県に在住しているのか」といった要素が自身の将来に影響を及ぼす不確定要素として存在していることを強く認識している。そのことがアンケートの回答に「わからない」を選ぶ率が有意に高いことの要因であろう。そして、その不確定要素を「不安要素」として強く意識することは義務履行の不確かさと関連する。

男性とは異なる傾向と課題を持つ女性のキャリアにおいて、本来のモチベーションを生かし、義務を完遂するためには何が重要であるかを推察する。それは、「不確定要素を不安要素としない」ことではないだろうか。すなわち、将来自身のキャリアに影響しうるライフイベント＝不安

要素、とならず、ライフイベントがいつ起こったとしてもキャリアを確実につなぐことができるという確証を持つことが重要である。そのためには、ロールモデルの存在、支援体制の整備とその周知は大きな意義がある。自治体アンケート調査でみられた復職支援や保育支援の存在を周知し、活用促進をすることは有意義である。また、ライフイベント経験医師の話聞く機会や集積事例の提供は重要である。経験者の話を聞くことにより、ライフイベントに関する問題に直面した際にどのような対処法があるかについて情報が得られ、対処法が分かっているならば不安が軽減される。その結果、不確定要素を有していてもそれが不安に直結することを防ぎ、キャリア継続と義務の完遂を支えることにつながるのではないだろうか。

## E. 結論

女性は結婚や出産というライフイベントの影響を強く受けることが示唆され、学生においてはライフイベントが実際に起こる前であっても不確定要素を強く意識していることが示唆された。しかし、ライフイベントとキャリアの両立という課題は単に女性医師の課題と矮小化すべきではなく、医師としてのプロフェッショナルリズムの追求と個人としてのwell-beingをどのように両立するか、という性別年齢を問わない課題であると考えられる。この課題を解決するためには支援体制について周知すること、好事例を共有することなどが重要であると考えられる。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

片岡仁美. 地域医療におけるキャリア形成.  
日本内科学会雑誌. 111(5), 971-976, 2022

### 2. 学会発表

小池創一、松本正俊、岡崎研太郎、片岡仁美、小谷和彦：「都道府県における医師確保に向けた諸課題に関する研究」第81回日本公衆衛生学会総会、2022年12月。

## G. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

表 1. 地域枠医学生および自治医科大学学生の属性 (n=745)

	男性 n = 365	女性 n = 380
学年		
1 年生	78 (21.4%)	85 (22.4%)
2 年生	67 (18.4%)	75 (19.7%)
3 年生	56 (15.3%)	73 (19.2%)
4 年生	48 (13.2%)	54 (14.2%)
5 年生	70 (19.2%)	60 (15.8%)
6 年生	46 (12.6%)	33 (8.7%)
所属		
地域枠	301 (82.5%)	316 (83.2%)
自治医科大学	60 (16.4%)	62 (16.3%)
不明	4 (1.1%)	2 (0.5%)
婚姻状況		
既婚	8 (2.2%)	2 (0.5%)
未婚	351 (96.2%)	374 (98.4%)
その他	2 (0.6%)	2 (0.5%)
未回答	4 (1.1%)	2 (0.5%)
子どもの有無		
いる	0 (0.0%)	0 (0.0%)
いない	363 (99.5%)	379 (99.7%)
未回答	2 (0.6%)	1 (0.3%)
実家やパートナーの家が開業医		
開業医である	22 (6.0%)	35 (9.2%)
そうではない	338 (92.6%)	341 (89.7%)
未回答	5 (1.4%)	4 (1.1%)

表 2. 地域枠医学生および自治医大学学生のライフイベントおよびキャリアプランに関する意識の男女比較

ライフイベント/キャリアプランに関する意識	男性 n = 365	女性 n = 380	p-value
結婚や結婚のタイミングについて悩んでいる			
いいえ	165 (45.2%)	108 (28.4%)	<.001
はい	152 (41.6%)	243 (64.0%)	
わからない	48 (13.2%)	29 (7.6%)	
自分やパートナーの出産について悩んでいる			
いいえ	178 (48.8%)	113 (29.7%)	<.001
はい	78 (21.4%)	207 (54.5%)	
わからない	109 (29.9%)	60 (15.8%)	
大学医局に入局するつもりである			
いいえ	103 (28.2%)	81 (21.3%)	0.007
はい	140 (38.4%)	131 (34.5%)	
わからない	122 (33.4%)	168 (44.2%)	
いずれ専門医を取得しようと思っている			
いいえ	22 (6.0%)	23 (6.1%)	1.000
はい	322 (88.2%)	335 (88.2%)	
わからない	21 (5.8%)	22 (5.8%)	
いずれ博士号を取得しようと思っている			
いいえ	175 (48.0%)	169 (44.5%)	<.001
はい	92 (25.2%)	54 (14.2%)	
わからない	98 (26.9%)	157 (41.3%)	
いずれ国内留学をしようと思っている			
いいえ	166 (45.5%)	141 (37.1%)	0.032
はい	63 (17.3%)	63 (16.6%)	
わからない	136 (37.3%)	176 (46.3%)	
いずれ海外留学をしようと思っている			
いいえ	192 (52.6%)	176 (46.3%)	0.139
はい	81 (22.2%)	85 (22.4%)	
わからない	92 (25.2%)	119 (31.3%)	
いずれ開業しようと思っている			
いいえ	195 (53.4%)	217 (57.1%)	<.001
はい	89 (24.4%)	42 (11.1%)	
わからない	81 (22.2%)	121 (31.8%)	

表3. 地域卒医学生および自治医科大学学生におけるライフイベントおよびキャリアプランに関する意識と義務履行の不確かさの関連（男女別）

ライフイベント/キャリアプランに関する意識	男性		女性	
	Prevalence <sup>b</sup>	OR (95% CI)	Prevalence <sup>b</sup>	OR (95% CI)
結婚や結婚のタイミングについて悩んでいる <sup>a</sup>				
いいえ	31/161 (19.3%)	Reference	17/107 (15.9%)	Reference
はい	37/148 (25.0%)	1.40 (0.81 – 2.40)	64/242 (26.5%)	1.90 (1.05 – 3.44)
わからない	15/48 (31.3%)	1.91 (0.92 – 3.94)	11/29 (37.9%)	3.24 (1.30 – 8.05)
自分やパートナーの出産について悩んでいる				
いいえ	35/178 (19.7%)	Reference	18/113 (15.9%)	Reference
はい	20/78 (25.6%)	1.41 (0.75 – 2.64)	53/207 (25.6%)	1.82 (1.00 – 3.29)
わからない	30/109 (27.5%)	1.55 (0.89 – 2.72)	21/60 (35.0%)	2.84 (1.37 – 5.91)
大学医局に入局するつもりである				
いいえ	24/103 (23.3%)	Reference	18/81 (22.2%)	Reference
はい	36/140 (25.7%)	1.14 (0.63 – 2.06)	31/131 (23.7%)	1.09 (0.56 – 2.10)
わからない	25/122 (20.5%)	0.85 (0.45 – 1.60)	43/168 (25.6%)	1.20 (0.64 – 2.26)
いずれ専門医を取得しようと思っている				
いいえ	5/22 (22.7%)	Reference	6/23 (26.1%)	Reference
はい	77/322 (23.9%)	1.07 (0.38 – 2.99)	76/335 (22.7%)	0.83 (0.32 – 2.18)
わからない	3/21 (14.3%)	0.57 (0.12 – 2.74)	10/22 (45.5%)	2.36 (0.67 – 8.27)
いずれ博士号を取得しようと思っている				
いいえ	34/175 (19.4%)	Reference	38/169 (22.5%)	Reference
はい	23/92 (25.0%)	1.38 (0.76 – 2.52)	11/54 (20.4%)	0.88 (0.41 – 1.88)
わからない	28/98 (28.6%)	1.66 (0.93 – 2.95)	43/157 (27.4%)	1.30 (0.79 – 2.15)
いずれ国内留学をしようと思っている				
いいえ	33/166 (19.9%)	Reference	31/141 (22.0%)	Reference
はい	16/63 (25.4%)	1.37 (0.69 – 2.72)	15/63 (23.8%)	1.11 (0.55 – 2.24)
わからない	36/136 (26.5%)	1.45 (0.85 – 2.49)	46/176 (26.1%)	1.26 (0.75 – 2.11)
いずれ海外留学をしようと思っている				
いいえ	36/192 (18.8%)	Reference	36/176 (20.5%)	Reference
はい	29/81 (35.8%)	2.42 (1.35 – 4.32)	23/85 (27.1%)	1.44 (0.79 – 2.64)
わからない	20/92 (21.7%)	1.20 (0.65 – 2.22)	33/119 (27.7%)	1.49 (0.87 – 2.57)
いずれ開業しようと思っている				
いいえ	40/195 (20.5%)	Reference	45/217 (20.7%)	Reference
はい	18/89 (20.2%)	0.98 (0.53 – 1.83)	14/42 (33.3%)	1.91 (0.93 – 3.93)
わからない	27/81 (33.3%)	1.94 (1.09 – 3.45)	33/121 (27.3%)	1.43 (0.85 – 2.40)

OR, odds ratio; CI, confidence interval

<sup>a</sup> 既婚者を除く

<sup>b</sup> 義務履行が不確かである割合



表 4. 地域卒卒業医師および自治医科大学卒業医師の属性 (n=375)

	男性 n=238	女性 n=137
卒後年数		
3年目未満	69 (29.0%)	37 (27.0%)
3年目以上	169 (71.0%)	100 (73.0%)
出身		
地域卒	160 (67.2%)	106 (77.4%)
自治医科大学	77 (32.4%)	31 (22.6%)
不明	1 (0.4%)	0 (0.0%)
勤務先		
診療所	20 (8.4%)	4 (2.9%)
200床未満の病院	39 (16.4%)	11 (8.0%)
200床以上の病院	107 (45.0%)	66 (48.2%)
大学病院	70 (29.4%)	54 (39.4%)
その他	2 (0.8%)	2 (1.5%)
勤務先の場所		
大都市およびその近郊	35 (14.7%)	24 (17.5%)
地方都市およびその近郊	147 (61.8%)	95 (69.3%)
へき地や離島	56 (23.5%)	17 (12.4%)
それ以外	0 (0.0%)	1 (0.7%)
婚姻状況		
既婚	137 (57.6%)	62 (45.3%)
未婚	98 (41.2%)	71 (51.8%)
その他	1 (0.4%)	4 (2.9%)
未回答	2 (0.8%)	0 (0.0%)
子どもの有無		
いる	84 (35.3%)	34 (24.8%)
いない	153 (64.3%)	103 (75.2%)
未回答	1 (0.4%)	0 (0.0%)
実家やパートナーの家が開業医		
開業医である	20 (8.4%)	10 (7.3%)
そうではない	216 (90.8%)	126 (92.0%)
未回答	2 (0.8%)	1 (0.7%)

表 5. 地域卒業医師および自治医科大学卒業医師のライフイベントおよびキャリアプランに関する意識の男女比較

	男性 n = 365	女性 n = 380	p-value
結婚や結婚のタイミングについて悩んでいる			
いいえ	176 (74.0%)	88 (64.2%)	0.104
はい	47 (19.8%)	40 (29.2%)	
わからない	15 (6.3%)	9 (6.6%)	
自分やパートナーの出産について悩んでいる			
いいえ	147 (61.8%)	51 (37.2%)	<.001
はい	58 (24.4%)	76 (55.5%)	
わからない	33 (13.9%)	10 (7.3%)	
大学医局に入局している/入局するつもりである			
いいえ	50 (21.0%)	23 (16.8%)	0.512
はい	175 (73.5%)	104 (75.9%)	
わからない	13 (5.5%)	10 (7.3%)	
いずれ専門医を取得しようと思っている			
いいえ	12 (5.0%)	6 (4.4%)	0.530
はい	224 (94.1%)	128 (93.4%)	
わからない	2 (0.8%)	3 (2.2%)	
いずれ博士号を取得しようと思っている			
いいえ	112 (47.1%)	80 (58.4%)	0.033
はい	100 (42.0%)	39 (28.5%)	
わからない	26 (10.9%)	18 (13.1%)	
いずれ国内留学をしようと思っている			
いいえ	122 (51.3%)	84 (61.3%)	0.007
はい	83 (34.9%)	27 (19.7%)	
わからない	33 (13.9%)	26 (19.0%)	
いずれ海外留学をしようと思っている			
いいえ	142 (59.7%)	89 (65.0%)	0.041
はい	52 (21.9%)	16 (11.7%)	
わからない	44 (18.5%)	32 (23.4%)	
いずれ開業しようと思っている			
いいえ	163 (68.5%)	98 (71.5%)	0.709
はい	31 (13.0%)	14 (10.2%)	
わからない	44 (18.5%)	25 (18.3%)	

表 6. 地域卒卒業医師および自治医科大学卒業医師におけるライフイベントおよびキャリアプランに関する意識と義務履行の不確かさの関連（男女別）

ライフイベント/キャリアプランに関する意識	男性		女性	
	Prevalence <sup>b</sup>	OR (95% CI)	Prevalence <sup>b</sup>	OR (95% CI)
結婚や結婚のタイミングについて悩んでいる <sup>a</sup>				
いいえ	12/48 (25.0%)	Reference	5/31 (16.1%)	Reference
はい	15/42 (35.7%)	1.67 (0.67 – 4.13)	21/38 (55.3%)	6.42 (2.03 – 20.31)
わからない	5/11 (45.5%)	2.50 (0.65 – 9.69)	5/6 (83.3%)	26.00 (2.48 – 272.82)
自分やパートナーの出産について悩んでいる				
いいえ	24/147 (16.3%)	Reference	10/51 (19.6%)	Reference
はい	13/58 (22.4%)	1.48 (0.69 – 3.15)	34/76 (44.7%)	3.15 (1.45 – 7.58)
わからない	18/33 (54.6%)	6.15 (2.73 – 13.86)	6/10 (60.0%)	6.15 (1.45 – 26.00)
大学医局に入局している/入局するつもりである				
いいえ	11/50 (22.0%)	Reference	9/23 (39.1%)	Reference
はい	42/175 (24.0%)	1.12 (0.53 – 2.38)	38/104 (36.5%)	0.90 (0.35 – 2.26)
わからない	2/13 (15.4%)	0.64 (0.12 – 3.35)	3/10 (30.0%)	0.67 (0.14 – 3.27)
いずれ専門医を取得しようと思っている				
いいえ	1/12 (8.3%)	Reference	1/6 (16.7%)	Reference
はい	54/224 (24.1%)	3.49 (0.44 – 27.69)	47/128 (36.7%)	2.90 (0.33 – 25.59)
わからない	0/2 (0.0%)	–	2/3 (66.7%)	10.0 (0.40 – 250.42)
いずれ博士号を取得しようと思っている				
いいえ	25/112 (22.3%)	Reference	30/80 (37.5%)	Reference
はい	22/100 (22.0%)	0.98 (0.51 – 1.88)	13/39 (33.3%)	0.83 (0.37 – 1.86)
わからない	8/26 (30.8%)	1.55 (0.60 – 3.98)	7/18 (38.9%)	1.06 (0.37 – 3.03)
いずれ国内留学をしようと思っている				
いいえ	22/122 (18.0%)	Reference	28/84 (33.3%)	Reference
はい	24/83 (28.9%)	1.85 (0.95 – 3.58)	10/27 (37.0%)	1.18 (0.48 – 2.90)
わからない	9/33 (27.3%)	1.70 (0.70 – 4.17)	12/26 (46.2%)	1.71 (0.70 – 4.19)
いずれ海外留学をしようと思っている				
いいえ	30/142 (21.1%)	Reference	31/89 (34.8%)	Reference
はい	15/52 (28.9%)	1.51 (0.73 – 3.12)	7/16 (43.8%)	1.46 (0.49 – 4.28)
わからない	10/44 (22.7%)	1.10 (0.49 – 2.47)	12/32 (37.5%)	1.12 (0.49 – 2.60)
いずれ開業しようと思っている				
いいえ	32/163 (19.6%)	Reference	32/98 (32.7%)	Reference
はい	8/31 (25.8%)	1.42 (0.58 – 3.48)	7/14 (50.0%)	2.06 (0.67 – 6.38)
わからない	15/44 (34.1%)	2.12 (1.02 – 4.41)	11/25 (44.0%)	1.62 (0.66 – 3.97)

OR, odds ratio; CI, confidence interval

<sup>a</sup> 既婚者を除く

<sup>b</sup> 義務履行が不確かである割合